

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

5月号 これぞ！キャンプの魅力



編集発行人：濱塚有史 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019(623)1515 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

またね！若者たちよ！

私の体験から

盛岡YMCA 監事

花松行雄（社会福祉法人岩手県連会 総理事務局長）

今もここで、幼い子どもたちや弱い立場の人々のいのちが軽く扱われることが起こっています。他者への配慮が希薄な時代とも言えます。

私は、小学生の時初めてJRC（青少年赤十字）の活動に参加し、その後30代になって日曜学校での礼拝や夏のキャンプ等で活動したことを思い出します。

「あなたの若い日にあなたの造り主を覚えよ」（伝道の書12：1）という聖書の箇所があります。30代になろうというときにイエス・キリストの世界を知りました。それまで知っていたものは殆どその中に含まれていることに気づいたものでした。

「若いて、それだけで素晴らしい」ということはばがあります。しかし、その価値に気づかずに長い年月を重ね、生かされているということに気づくのが遅かった一人であります。

そして今は保護司として更生保護に携わっています。この活動には若者の団体、BBS会という全国的な団体の弛まぬ奉仕活動があります。

この5月、今日も私の職場では早朝から数十人の大学生達が集

まっています。子ども達の行事にボランティアとして参加するためです。年間行事の大半はこの若い人たちの奉仕で成り立っていて、そしてそれは先輩から後輩へ30年以上も続いています。

YMCAに関わるようになって8年ほどになります。今日もまたリーダーたちを先頭にスポーツ、キャンプなど多彩なプログラムが行われていることでしょう、YMCAもこの方々によって支えられているのです。その活躍、若さと意欲はすばらしく、私には眩しく映ります。

盛岡YMCAの使命の1に「こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。」とあります。

一方で若い人たちの中にも社会との繋がりを持っていない方々がいることを覚えます。そういう人たちにも助け手が送られることが希望の持てる社会であり、多くの若者がYMCAに連なることによって、その国際性や人間愛の理念に触れ、共に生きることの大切さ、他者への思いやりを培うことができるのではないのでしょうか。

これぞ！キャンプの魅力

もう5月も残りわずかとなり、6月に入ろうとしています。6月と言えば梅雨の季節。この梅雨が明けたら暑い暑い夏がやってきます！

そんな夏に欠かせないものと言えば…やっぱり『キャンプ』ですよ☆

そこでリーダーたちにキャンプの魅力についてたっぷりと語ってもらいました！

今回キャンプの魅力について語ってくれたのはこのリーダーたちです。



ホタテ

岩手大学3年生。去年「農ギャル」デビューを果たしました。今年も農ギャルとして田植えをします。



ベム

岩手県立大学4年生。一見クールな盛岡Yのさわやか系☆「ほねおじさん」とも呼ばれています。



えだまめ

盛岡大学3年生。小学生の時はYっ子としてサッカーやキャンプに参加していました。今回は当時の話にも注目☆



ずん

盛岡大学3年生。4月までのダイエット宣言をしていましたが達成できず。最近クマのような体型の愛らしさに「やせないで」の声も…



スカイ

岩手県立大学4年生。コーヒー牛乳をこよなく愛する女の子です。しかし、ところどころにオヤジっぽさが漂っているため、「おやじ」のあだ名を持っています。



おかわり

岩手県立大学4年生。大きい体が特徴のおかわり。最近手に入れた赤い車に乗っている姿がマリオカートのドンキーコングに似ています。



ビーチ

岩手県立大学4年生。今回の対談では司会をつとめさせていただきます。

ビーチ:早速ですが、みなさんの「夏のキャンプといったらこれ！！」を教えてください。

ベム:キャンプといえば、みんなで過ごす夜のおもしろさ！！テントの中で寝る前に「明日〇〇して遊ぼうよ」って話してみたり、「笑ったら負けな」ってふざけてみたりするのはめっちゃくちゃ好きだなあ(^w^)

スカイ:やっぱりキャンプファイヤーかな。同じ考えの人は多いのでは？わいわい盛り上がった後に何とも言えない感情が湧いてくる。キャンプの数日間の楽しかった思い出が浮かんだり、明日になればお家に帰れるという安堵感が湧いてきたり、でも明日でキャンプが終わっちゃう寂しさもある。きっと、キャンプファイヤーは一人一人に大きな何かを感じさせる魅力があるから今も昔もキャンプで行われているんじゃないかな。

ビーチ:私もキャンプファイヤー好きだなあ。

ズン:夏のキャンプといえば海だあ♪広い海水浴場でめいっばい泳いだり砂浜でビーチバレーしたり☆海が好きなんです。

ホタテ:私は水浴びして投げ合うの好きだな♪

おかわり:水のぶっかけ合い！バケツでやり合うのがいいね☆

あとはやっぱり火焚き！でもなんと言ってもみんなで食べるご飯かな(^皿^)

あーキャンプ行きたい！！

ビーチ:海キャンといえば水のかけ合い！私も大好きです。

海のキャンプに行ったことがある人が多いですね。海キャンでのエピソードはありますか？

ズン:去年の海キャンの夏祭りがかき氷屋さんやって大繁盛してグループみんなで大喜びしたのが思い出だな☆

ベム:スタンプでミステリーものの劇をやったんだけど、それがすごくよかったみたいでめっちゃくちゃ拍手をもらった時は、グループのみんなで超喜んだよ☆

おかわり:頭の先から足の先まで浮き輪をつけて砂浜を転がってみたらめっちゃ速いスピードで海に突っ込みました！みんなの注目を集めること間違いなし☆
ん〜キャンプ行きたい！！



★食パンリーダーが紹介する★

てんむすリーダー(高橋みゆりさん)

はじめまして、食パンです。私からてんむすを紹介します！てんむすは盛岡大学文学部社会学科の2年生で盛岡市出身です。またの名は、「ダダ」。ウルトラマンに登場する怪獣に似ているからついたらしい！確かにそっくりです！そんなみんなから愛されているリーダー名があるのに、本人は認めません。「てんむす」や「てんちゃん」とかわいらしく呼ばれたらいい。本当にわがままなやつです！他にもラクダ顔や蛇口鼻と呼ばれたりもしています。たくさんの変わったリーダー名があり呼ばれるのは、やはりみんなから愛されている証拠なのだと思います。

また、てんむすは、絵がとて上手です！しおりの表紙や挿絵を書かせたらピカイチ！そして話を聞くのがとても上手いです！マイペースで一人ひとりとじっくり関わるダダと子どもの周りは、いつの間にかあつたかい雰囲気包まれています。最近はお話のことがやいたずらをするのが好きで、いつも面白いことばかり考えています。たまにオヤジギャグも飛び出さるかも…(笑)

そんなてんむす、いや、ダダ！はアドベンチャークラブやサングラススクール、サッカースクールとたくさん活動で活躍しています。今度会ったときはぜひ、ダダと呼んであげてください。



私でんむすからは、食パンの紹介をさせていただきます。食パンリーダーは、盛岡大学短期大学部の食物栄養科2年生。高校時代からソフトボールをしていて、強靱な肩を持っています(おそらく)。リーダー名の由来は、白いお肌！元々は「食パンマン」だったのですが、長いこということでいつの間にか「食パン」に縮みました。最近ではさらに短く「パン」と呼ばれるようです。水泳を中心に、サッカーやアドベンチャー、サンダー、キャンプなど、様々な活動に積極的に参加しています。そして、食物栄養科で学んでいるだけあってとても料理が上手。私は、料理や栄養関係で分からないことがあれば彼女に聞いています。どこかゆっくりとした雰囲気をもっと、お母さんのようなだなど思うこともしばしば(笑)。また、まとまりがあるんだかないんだか分からない2年生のまとめ役をするのも、自分、おっとりとして優しいだけでなく、自分に厳しい一面もあり、私も見習わなければいけません。短大生ということで、就職活動も頑張っている真つ最中。頑張り屋さんな食パンリーダーと一緒に、これからのいろいろな経験をしていけたらと思っています。

◆リーダー紹介◆

★てんむすリーダーが紹介する★
食パンリーダー(松坂実香さん)



スカイ:海キャンで、夜に蚊取り線香をたかなかったためみんな服の上から蚊に刺されて大変だった。恥ずかしいけど私はお尻をたくさん刺されて、「スカイのお尻すごいよ〜!!きゃー!!」って叫ばれた…。蚊取り線香

や虫よけスプレーは必須アイテムだよ!!

おかわり:虫と言えば、めったに見ることのできない「タマムシ」に気が付かずにけつとばしたことがあるよ(-_-;))

でもキャンプ行きたい!!

ベム:失敗談つながりで…1日目、2日目楽しすぎて、3日目の朝、部屋のメンバー全員が寝坊して朝の集いに出席できなかったことがある(^_^;))

ピーチ:海のキャンプや縄文キャンプ、サッカーキャンプなど、今までいろんなキャンプに参加して来たみなさんの、「キャンプの楽しみ」について語ってください!

ホタテ:火をおこしてご飯を作って、寝袋で寝てみんなで1日中遊ぶっていう普段できないことができること!

おかわり:俺は山とか海とか森とか川の中で思いっきり遊ぶこと!!
あといろんなやつと遊ぶこと!
とりあえずキャンプ行きたい!!

えだまめ:僕は子どもの時に参加してたけど、色々な人達と色々な話をできたり、遊びまくればか騒ぎできるのが楽しさかな(^U^)

ピーチ:えだまめは小学生の時もYのキャンプに参加してるけど、どんなことが楽しかった?

えだまめ:僕はあまり人に話しかけたりするのが苦手な子だったから、リーダーと水を掛け合ったり、サッカーをしたり、一対一で自分のやりたいことをしておもいっきり遊べたことが嬉しかったな。あとは皆と火をつけたり料理をしたりできたのも今考えれば楽しくいい思い出だったなと思うよ(^_^)

ベム:俺はキャンプに行く前にも「どんなことがあるのかな」っていうような楽しいイメージをしていくけど、いざキャンプに行ってみると「え!?!こんなこともあるの!?!」っていうことが本当にたくさんあって、いい意味でイメージ通りにいかない!それがキャンプの楽しさだと思う(o^V^o)

スカイ:私はキャンプで初めて会ったみんなと仲良くなれるかな。

スカイ:いきなり打ち解けることもあるけど、恥ずかしさとか緊張からなかなか打ち解けることができないこともある。でもキャンプっていう遊びと生活の場で、自分や相手発信のきっかけ、何か作業を通しての関わりが元になって、最終日にはすっかり仲良くなってたりする。キャンプでの「出会い」はより特別だし、打ち解ける過程が楽しいと思うよ。

ピーチ:それでは最後に、ニュースを読んでいるYっ子に向けて何か一言お願いします!

ホタテ:夏のキャンプは楽しいことが盛りだくさん!!みんな今年の夏もぜひキャンプに来てね!

ベム:どう?おれの話聞いてどんな気持ちになったかな?キャンプは毎年来るメンバーも違うしプログラムも違う、もっと言ってしまえばやる遊びも天気も日にちも食べるものも違う!だから何が起きるのかもわからない!!実際に行ってみないとこの楽しさはわからないってこと☆何が起こるか分からないキャンプに、元気でアホなメンバーと一緒にいこうぜ!!

スカイ:夏のキャンプは一生の思い出になると思います!!

夏のキャンプはいろいろんなことを自分の力や、仲間との協力で経験したり乗り越えます。なんだか成長して大人になった気分になれるはず。

あと、海や川や山など大自然でのびのび遊べるのは夏のキャンプだけ!!

今年の夏もみんなに会えるのを楽しみにしてるよ☆

ズン:俺は毎年夏のキャンプが楽しみで楽しみでたまらない。キャンプの全ての場面がズンの夏の思い出だよ!みんなもあと何年か後にあの時のキャンプであ〜いうことしたなあとかいつまでも自分の中に思い出として残るようなキャンプになってほしいな!今年のキャンプもみんなと楽しむぞお!

おかわり:とにかくキャンプに行きたい!!

みんなの書く日記、毎年爆笑させられるので今年も楽しみにしてるよ(^-^)

えだまめ:色々なキャンプに参加して色々な事を感じて夏休みの最高の思い出にしてほしいな。みんなで夏祭りより楽しく騒いで行こう!夏祭りより楽しいこと間違いなよ☆

ピーチ:ありがとうございます。私もキャンプでみんなと会えるのを楽しみにしてるよ!今年の夏は何が起こるのか今から楽しみだな☆



アドベンチャークラブ5月活動 「動物園にGO!」

5月16日(日)アドベンチャークラブの5月活動が、盛岡市動物公園で行われました。当日は、それまでの寒い日とは違って暖かい日となりました。参加者は、子どもが11名、大学生のボランティアリーダーが15名とリーダーの人数の方が多く、どちらが引率しているのかわからない人数構成でしたが、公園のジャングルジムで遊んだり、動物にふれあったり、楽しい1日をおすごしすることができました。



今回は、1年生のフレッシュなリーダーたちが多数参加したこともあり、子どもたちはむしろ動物よりもリーダーに関心があるらしく、動物観察よりもリーダーと遊ぶことに熱中しているようでした。

サンディスクール5月活動

「花をギュギュット押し花アート」

5月23日(日)の午後仁王児童センターにて押し花作りをしました。この日は子ども13名、リーダー9名が集まりました。今回の押し花の作り方は、花をティッシュ、ダンボールの順で挟み、上にマグカップの重しを乗せて電子レンジで約1分チンするというものでした。子どもたちは、たんぼぼや菜の花、カーネーションやバラなど色も大きさも違う花がたくさん入ったバケツの中から自分の好きな花を選び、どの向きで押すのかあでもないこうでもないという試行錯誤しながら作業をしていました。押し花が出来上がると、その後は、画用紙に貼ってビーズや絵の具でデコレーションをしたり、しおりを作ったりと加工も自分の好きなように行いました。大きな花に挑戦する子もいれば、茎に興味を持つ子もおり、花をどれにするか、花をどう使うかは子ども一人ひとりで違い、この日は押し花の芸術家がたくさんいました。帰りに余ったお花を持ち帰った子も多く、きつとおうちでも押し花を作っていることでしょう。

今回のサンディスクールは、6月13日(日)にアイスクリーム作りをします。こちらにもたくさんの参加をお待ちしております!!(スカイ)



6月の予定

★6月12日(土)
もりおかワイズメンズクラブ
第1例会(於JARAN JARAN)

★6月13日(日)
サンディスクール
「アイス王国へようこそ」
(於プラザおでって生活アトリエ)

★6月18日(金)
もりおかワイズメンズクラブ
第2例会(於アイーナ6階団体活動
室③)

★6月26日(土)～27日(日)
アドベンチャークラブ6月活动
「1泊キャンプ。火を焚く」(於八幡
平市県民の森キャンプ場)

★ 維持会員 ★

盛岡YMCAは、1983年から活動を始め世界を見つめながら盛岡の地域に根ざした活動を多くの方々から支えられながら続けて来ました。維持会員とは、盛岡YMCAの使命に賛同し盛岡YMCAの活動を支えるため、維持会費を払って会員となった方々です。

◆ 盛岡 YMCA の維持会員としてYMCAの諸活動をお支え下さい。申し込み方法は、YMCAにお問い合せ下さい。

● 寄付金
熊谷太、水田賢次、長谷川精一、伊藤克見、伊藤喜代江、布川雅樹、布川直子、神永瞳、及川茂夫、及川恵、川守田浩、工藤直子、清水弘一、吉崎陽、今松桂子

● 維持会員
2010年度
順不同・敬称略
菊池崇江、熊谷太、鶴丹谷三千代、水田賢次、新里ちえ子、金田一世美子、重石桂司、大関靖二、長谷川精一、北田アユ子、田村治之、伊藤克見、伊藤喜代江、濱塚秋二、濱塚れい子、布川雅樹、布川直子、神永瞳、小畑孝子、松尾聡子、及川茂夫、及川恵、川守田浩、晴山真理子、工藤直子、竹内一真、清水弘一、吉崎陽、千葉代子、今松桂子

リーダーお勧めの本⑦
えだまめリーダー

もしもぼくのせいがのびたら

作 にしやま かやこ



この本は、僕が小学生の頃に初めて読みました。主人公の“たろう”という男の子が、お父さんとお母さんのさりげない「たろうはこの頃せいがきゆうにせいがのびたんじゃないかな」「そうね。これからどんどん大きくなるでしょうね」という会話からどんどんと想像を膨らましていくのです。せいがのびたら、何ができるのかと考える始まるのです。そこからうまれた彼の想像は近い将来の話から夢の話となっていくのです。



彼の想像は階段を2段ずつ昇ったり、電気を消したり、ベッドから足がはみ出たり、隠されていたチョコレートを見つけて食べたりと出来そうな想像でした。しかし彼の想像はこんなものではありませんでした。彼は天井や屋根まで突き破ってしまうのです。そして、道路、川、山をひとまたぎして最後は入道雲まで抑え込んでしまうのです。僕はこの本を読んで、現実には考えられないが、こんなに大きくなったら“何がしたいかな”なんて考えました。考えてみると移動などは楽でいいなと思う点もあったり、こんなに大きくなったら家に入れないなど嫌だなと思う点があったりと様々な事を考えました。しかし、読み終えたときはすごい想像力だなと感動していました。僕は「この様な想像力を付けたい」と思うきっかけとなった本でした。また、今もたまに読んで笑っている本です。

三田庸平(盛岡大学 文学部児童教育学科3年生)

～表紙の写真から～



この写真は昨年、夏の縄文キャンプでの火起こしの場面です。何もない所に新聞紙と木くず、細い木や枝から徐々に太い薪などを用いて小さな火を少しずつつ少しずつ大きくしていきます。その行程はまさに火との“会話”です。どこに行きたいのか、空気を必要としているのはどこなのかと

いった火の要求と、この木に燃え移ってほしい、大きくなってほしいというこちらの要求をうまく折り合わせて大きくしていきます。

子どもたちとの関わりも似ているかもしれません。子どもたちが僕らに求めるものと僕たちが伝えたいこと。それがうまくかみ合わずにぶつかることも多いですが、思いが一つになったときのあのなんとも言えない喜び、楽しさは、火が大きくなって安定した時の喜び、楽しさと似ているような気がします。

そんな事を一年前の写真を見て、珍しく感慨にふけったおかわりでした。
文責：おかわりリーダー(中村 光晴)

短期集中連載

社会人になった
シロクマリーダーの栄養教室①

家村知佳



こんにちは。なんとシロクマが戻ってまいりました！栄養教室再開です。

最近、子供の肥満が増加しているということで、今回は子どものメタボについて簡単に説明します。

現在、肥満気味の子どもの30年前に比べて約2倍に増え、全体の1割ほどになっています。食生活が変化してきていることや体を動かして遊ぶことが減ったこと、また、お受験のストレスなども原因となっています。子どもの肥満の約7割は成人肥満に移行するといわれており、成人後に動脈硬化や糖尿病が早く進行する危険が高まるといいます。

そこで、“子どものメタボリック診断基準”がつくられました。第一段階の腹囲は中学生が80cm以上、小学生は75cm以上、もしくは腹囲(cm)÷身長(cm)=0.5以上が基準となります。

しかし、育ち盛りの子供に無理なダイエットを強制するのは他の問題を起すしかねません。偏食や間食をやめるなど食生活を見直すこと、体を動かすなど生活習慣を見直すことが必要です。

ぜひ盛岡YMCAの活動に参加して思い切り体を動かしましょう!!!

一泊リーダートレーニング

5月2日(日)～3日(月)にかけて八幡平県民の森キャンプ場で一泊リーダートレーニングが行われました。野外炊飯やテントに泊まる生活を実際に体験し、その中で料理の仕方、火のおこし方、テントの立て方などを学びました。1日目は、近くのスーパーへ買い出しに行き、協力して料理を作りました。夜にはその料理を皆で食べながら話したり、散歩へ行ったり、自由に過ごしました。今年度から新しく盛岡YMCAに来てくれた一年生と沢山話す事が出来る機会にもなりました。2日目は、朝から風が強く、食事用のテントが飛ばされてしまうというハプニングもありましたが、天気はとても良く、お昼ごはんを食べた後は、近くの広場へ行き野球をして遊びました。5月の始めとは思えないほどの暑さでしたが、自然の中でのびのびと過ごすことができました。今回のリーダートレーニングを通して、自然の中で大勢で生活する楽しさを感じることができました。また、キャンプをする上での準備の大切さや、火起こしなど学ぶべきことも、まだまだ沢山あると感じました。今回のリーダートレーニングで感じたことや、学んだことを大切にしながら、子どもたちと楽しいキャンプを作っていけたらと思います。

文責：ちゅーリーダー(尾形 裕一郎)

